科目名	教科書名	副教材名
高校１年 家庭基礎	家庭基礎　自立・共生・創造 （東京書籍）	楽しく学べるマナーの基本 被服実習教材 調理実習食材

１．授業のねらい

人の一生を，さまざまなライフステージと関連させ総合的に学ぶことにより，基礎的な知識や技術を習得し，男女が協力をしあい，自分の人生をよりよいものに創造することができる人になることを目標とします。子どもや高齢者と共に健康な衣食住の生活を営むことができ，環境にも配慮した生活が送れる生活者を目指します。

２．授業のすすめ方

実践的・体験的な授業が重要となる教科なので，授業の中に多くの実習を取り入れます。中学校で学習した内容を基礎にして，生活に関する基本的な内容を幅広く学習します。

①授業は週２回です。

②実習は調理系・被服系・保育系・住居系などから，何度か行います。

③調理実習などを家庭科室で行う場合があります。その場合は，事前に連絡をします。

④教科書に基づき，電子黒板，タブレット端末を使用した生徒参加型の授業を進めていきます。

⑤授業での重要なポイントについては，プリントを用意します。授業の順番にファイルで管理を行ってください。

３．学習上の留意点

①家庭科は生活を学ぶ授業です。家庭生活の中で活かすことが出来るよう積極的に参加することが大切です。学んだことを家庭で多いに活かし，また復習するようにしてください。

②実習のための身支度や授業の用意を忘れないようにしてください。

③実習のときは，危険が伴いますので担当教員の説明を良く聞き，同じ班の人と互いに協力し，それぞれの役割を果たし，積極的に取り組んでください。

④新聞やインターネット，本などを上手に活用し，社会の変化に目を向け，情報収集することも家庭科を学ぶ上では大切なことです。

⑤シンキングツールを活用した考察やディスカッションなどを行います。取り上げられた課題について深く考え，自分の意見をまとめて他者に伝えたり，自分と異なる意見を知ったりすることにより見識を深めましょう。

⑥提出物は期限を守って，必ず完成した状態で提出してください。

⑦担当教員が指示した場面以外での，授業の録音・録画は認められません。

４．副教材・参考文献

①楽しく学べるマナーの基本（副読本）

②被服実習教材　アクリル毛糸　かぎ針

③調理実習（調理実験）食材

５．評価方法

①成績は各学期末に算出されます。７０点分を各学期末に行う定期考査から，３０点分を平常点から評価し，合算して１００点満点で通知します。平常点の割合が大きいので平常点を大切にしてください。

②平常点は　１）授業中の態度（忘れ物も含む）　２）提出物　３）実習の技術　以上３つを中心に評価します。

③年度末に各学期の評価から学年成績（評定）を５段階評定で算出します。その他に，「知識・技能」「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の３つによる観点別評価をそれぞれA，B，Cの３段階により評価します。

６．定期考査

定期考査は各学期末にのみ行います。毎回の授業に集中し，復習を行ってください。３学期末考査は学年末考査とし，１学期２学期の考査も範囲としますので，定期考査後は，家庭科ファイル等で大切に保管しておいてください。

指導計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	四月 五月 六月 七月	**「家庭基礎」を学ぶにあたって** ・家庭基礎を学ぶ意義 **「自分らしい人生をつくる」** ・生涯発達の視点　・青年期の課題 ・高校生としてのマナー ・家族・家庭を見つめる **「住生活をつくる」** ・人と住まいのかかわり ・健康的で安全な住まいづくり ・一人暮らしの部屋さがし **「子どもと共に育つ」** ・子どもの育つ力を知る ・親として共に育つ **「衣生活をつくる」** ・布を用いた生活の知恵 ○被服実習（手縫いの基礎縫い） ・雑巾作り	・授業姿勢 ・ロイロノートを用いた提出課題 ・実習技能 ・実習態度 ・被服実習の作品 ・期末考査	・高校生として必要なマナーや，立ち居振る舞いを身に付ける。 ・ライフステージごとの特徴やその課題について理解する。 ・家族に関連する法律を理解し，現代の家族の問題点について考える。 ・住まいの機能・住宅情報の読み取り方を理解し，適した住まいを選択出来る。 ・快適な室内環境を作ることが出来る。 ・子どもの発育・発達について理解する。 ・現代の保育環境を理解し，その問題点について考える。 ・タオルを用いて手縫いで雑巾を作ることが出来る。 ・基礎縫いの技術を身につける。
二学期	九月 十月 十一月 十二月	**「食生活をつくる」** ・私たちの食生活を見つめる ・栄養と食品のかかわり ・食生活をデザインする ・これからの食生活を考える **○調理実習又は調理実験** **「高齢社会を生きる」** ・高齢社会に生きる私たちの暮らし ・支えあって生きる **「経済生活を営む」** ・経済のしくみを知る ・主体的な消費行動	・ロイロノートを用いた提出課題 ・授業姿勢 ・実習時の身支度 ・実習態度 ・実習プリント ・期末考査	・栄養素の種類とはたらきを理解する。 ・食品の安全と衛生における留意する点を理解する。 ・献立作成を通じて，バランスの整った食事について理解する。 ・調理実習（調理実験）を通じて，調理理論を理解し，基礎的な調理技術を習得する。 ・高齢者の心身の特徴や生活について理解する。 ・介護保険制度や年金などの仕組みを理解する。 ・家庭の収入と支出について理解する。 ・消費者問題を解決する力を身につける。
三学期	一月 二月 三月	**「衣生活をつくる」** ・人はなぜ衣服を着るのか ・衣服は何からできているのか ・健康的で快適な衣生活をつくる ・環境に配慮した衣生活 ○被服実習（編み物） アクリルたわし	・ロイロノートを用いた提出課題 ・授業姿勢 ・実習態度 ・編み物実技試験 ・被服実習の作品 ・期末考査	・被服の機能や役割，被服の材料の種類，性能を理解し，自分にふさわしい衣生活を営むことが出来る。 ・かぎ針を用いた基本的な編み物の技術を習得する。

※シラバスの内容（時間や事項）については，理解度やその他の都合により省略や前後することもありうる。